

静岡がんセンター病院事業経営見通しに対する平成 30 年度の自己評価

1 概要・経緯

- 平成 27 年 3 月 31 日、「公立病院改革の推進について」（総務省自治財政局通知）が示される。
- 平成 28 年度から平成 32 年度（元号：計画時）までを計画期間とした「静岡がんセンター病院事業経営見通し（静岡がんセンター病院改革プラン）」を、平成 29 年 3 月に策定した。
- 今回、平成 30 年度の事業について、次のように評価した。

2 静岡がんセンター病院事業経営見通しに対する平成 30 年度の評価

○ 計画、実績

(単位:百万円・税込)

年度		29 実績	30 計画	30 実績
収入	医業収益	26,269	26,378	27,355
	医業外収益	7,188	7,337	7,191
	経常収益(A)	33,457	33,715	34,546
支出	経常費用(B)	33,361	33,405	34,461
経常損益(C=A-B)		96	310	85
特別損益(D)		▲29	0	▲16
純損益(C+D)		67	310	69

○ 数値目標の実績・評価

年度	29 計画	29 実績	達成度	30 計画	30 実績	達成度	
経常収支比率	100.0%	100.3%	◎	100.0%	100.2%	◎	
医業収支比率	80.0%	81.9%	◎	80.0%	82.5%	◎	
職員給与比率	44.4%	44.4%	○	45.2%	44.9%	◎	
病床稼働率	90.0%	90.8%	◎	90.0%	89.7%	○	
患者診療収益	入院	64,718 円	66,442 円	◎	65,064 円	69,030 円	◎
	外来	41,174 円	41,888 円	◎	41,176 円	43,909 円	◎

* 患者診療収益:患者1人1日当たりの診療収益

* 病床稼働率:(在院患者(24時現在在院患者数)+退院患者数)÷実稼働病床数×100
により算定

※達成度:◎=計画以上、○=概ね計画どおり、×=計画以下

【平成 30 年度評価】

- 平成 30 年度は、主に業務の効率化による時間外縮減、診療報酬改定への対応を進め増収を図るとともに、病床稼働率、重症度、医療・看護必要度 I を目標に掲げ、経営努力を行った。
- 引き続き、各診療科と病棟が連絡を密に取ること等による病床の効率的な運用に取り組む

とともに、状況を経営戦略会議等の会議で報告、進捗管理を行った。

- ・ 病床稼働率は目標を達成できなかったものの、重症度、医療・看護必要度Ⅰは 32.7%、一日一人当たりの入院収益、外来収益ともに計画値を達成した。
- ・ 当初の計画では純利益は 310 百万円を見込んでいたが、計画と比べ人件費の増、修繕費、光熱水費等の経費の減などにより、結果、純利益は約 69 百万円となった。
- ・ プランの点検、評価にあつては、病院幹部会議及び、経営戦略会議で審議する。

3 今後の方向性

- ・ 病院事業の黒字の維持のため、適切な目標設定と進捗管理、その他の管理指標の分析等を行い、必要な対策と改善により、引き続き、効率的な運営に努める。
- ・ 静岡がんセンターは、駿東田方医療圏唯一の高度先端医療の提供を行う特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院として診療業務を行っており、静岡県在住者を中心とした患者さん等への診療密度の高い医療の提供が期待されていることから、引き続き、高度急性期機能、急性期機能の提供に努める。また、世界、日本のがん医療の現況を意識しながら、「がん医療のフロントランナー」としての活動を進めていく。